

## IEEE MILESTONE (2)

### ・ Mount Fuji Radar System, 1964

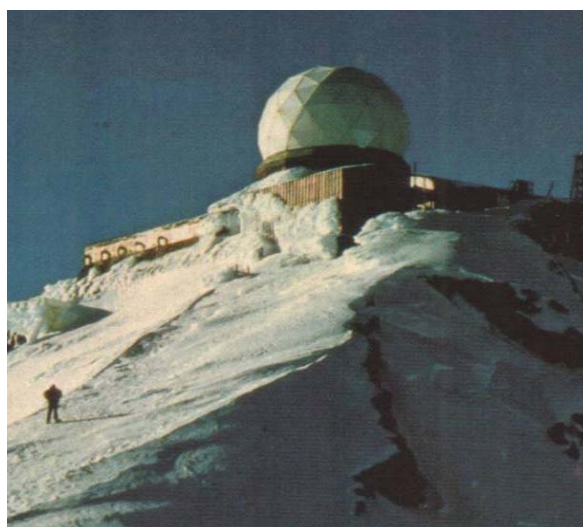
#### 富士山レーダー

#### 東京支部

人工衛星以前の 1964 年に完成した世界で最も高い位置に設置された気象レーダーである富士山レーダーは、800km の遠隔地に発生した台風を直ちに検知し、予告するものである。気象レーダーの新技术に加えて、遠隔制御や複雑な電子システムの保守の簡便化をも実現した。このレーダーは気象庁が計画し、三菱電機が主契約となり、大成建設が協力して完成した。

#### Citation (銘板に鑄込まれた碑文)

*Completed in 1964 as the highest weather radar in the world in the pre-satellite era, the Mount Fuji Radar System almost immediately warned of a major storm over 800 km away. In addition to advancing the technology of weather radar, it pioneered aspects of remote-control and low-maintenance of complex electronic systems. The radar was planned by the Japan Meteorological Agency and constructed by Mitsubishi Electric Corporation.*



富士山頂レーダードーム



東京大手町の気象庁本館気象科学館  
に展示されている銘板

#### 受賞の経過

- 1) Proposal Form 提出：1998年11月25日、Nomination Form 提出：1999年7月7日
- 2) 審査の後、1999年10月30日の IEEE Executive Committee で最終承認された。
- 3) Dedication Ceremony：2000年3月6日に気象庁本館にて Plaque(銘板)贈呈式が行われた。

註) 受賞の対象である富士山頂レーダーは、気象衛星にその任を引き継いで、2000年に運用中止となり、解体後、麓の富士吉田市に新設された富士山レーダードーム館に保存・展示されている。